

茨城県民間保育協議会青年部

いしずえ
礎

第2回茨城県民間保育協議会青年部全体会報告

御前山保育園

川又 朋子

9月12日～13日で、第2回青年部全体研修会を「ECO」をテーマに行った。今回は、キャンプ形式で委員それぞれが日々の生活を振り返りつつ、新メンバーも増えたこともあり、懇親も深める意味を含め企画した。

自然豊かな場所で保育の中で活かせる身近な「ECO」を皆で体験し有意義な時間を過ごすことができた。食事はそれぞれ役割分担して作ったものを、体験研修で製作した「廃油で作ったろうそく」を明かりにしながら懇親を深めた。日常とは違った時間を過ごすことで、日々の保育と自分たち自身の日常を振りかえることができた研修会だった。



☆ トピックス ☆

- 第2回茨城県民間保育協議会全体会報告
- 茨城県民間保育協議会青年部視察研修報告
- 日本保育協会三支部合同研修会報告



参加メンバーの声

○他園の先生方との交流の中で沢山の情報交換ができ、なかなか自分では実践できないエコ活動についても今回の研修で実はとても身近なことだと感じました。有意義な2日間を過ごさせて頂きありがとうございました。

(恵泉保育園：藤峰 望夢)

○当日は、道に迷い、やっとの思いで到着。だいぶ遅れてしまいましたが、「うん？」みんなと格好が違う!! (青年部活動ということでしたので、正装でいくものだと勘違い…。) そんな私を受け入れてくれたみなさんと、エコバック作りと廃油を利用したキャンドル作り。楽しい会話をしながらの作業でもありましたし、夕方からは、みんなで作ったエコキャンドルのほのほのとした雰囲気の中で青年部のみなさんと親しくなれる時間を過ごせました。「エコへの関心は、実践から」なんて思った次第です。(玉里保育園：戸田 見良)

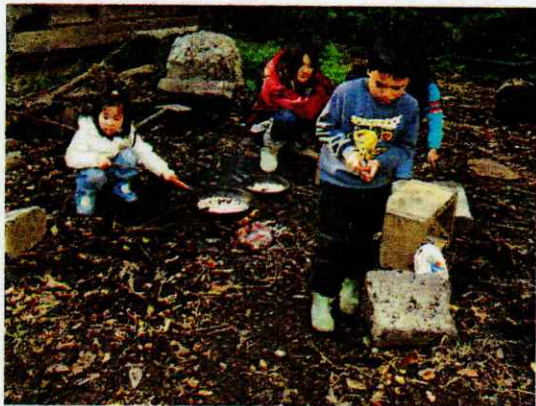


あおぞら保育園
石川 一幸

1年前に、木更津社会館保育園で実施されている『里山保育』の存在をNHKのテレビ番組を通して知りました。そこでは子ども達が火を使ったり、棒を持って裸足で外を走り回ったり、かなり危険と思われる場所へ探検に行ったりと、保育園ではここまで出来ないと思っていた事が当たり前のように実施されておりました。ボクは大きな衝撃を受けると共に、実際には問題となるような怪我は無いのか、保育士の手はどこまで入っているのか等の疑問を感じた事を覚えています。今回の視察案内を頂いた時には、是非参加し以前感じた疑問を解消したいと思い主任保育士と共に申し込みをさせて頂きました。



当日、里山に入り実際に子ども達と合流すると、「わけぎ」を掘り泥をふいて食べている子や、焚き火でフライ



パンを使いシイの実を炒っている子、手を火傷したが保育士も子ども自身もあまり気にしていなく、火傷も経験の1つとして学ばせていることに大変驚きました。子ども達が山の中を駆け回り、獣道を探検しているところを見ていると、自分が小さい頃裏山に友達と探検に入り怪我をしながらも日が暮れるまで遊んでいた楽しい時代を思い出しました。

ボクが子どもの頃に経験したような遊びは『危ないから』という理由だけで敬遠されがちです。しかし今回の視察で、子どもを信じて大人が適切な距離を保ちつつ見守ることにより『これなら

安全!!こうしたら危険!!どうすればいいかな』と考える力や行動力、先をよむ想像力が自然を通して学ばせる事が出来るのだと分りました。教育の幅や可能性の広がりを感じ、とても嬉しく思いました。

園長先生の言葉で『どんな困難に直面しても、その中に楽しさを見出し乗り越えていける子ども達に育ってくれたら最高だね!!』という言葉がすごく印象的でした。少子化問題・財政難と大変な時代だからこそピンチをチャンスと捉え、子ども達のために何かができるか、地域のために何か出来るかを考えながら今回の研修で感じたこと、学んだことを日々の保育に活かし、楽しみながらよりよい保育を目指していこうと強く思いました。



さしま保育園
中川 祐一

11月26日都内で開催された研修会に参加させていただきました。
講師として厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐の隈本
英俊氏、参議院議員有村治子氏、日本保育協会常務理事萩原英俊氏
の三氏からお話をいただきました。有村氏からはコミュニケーションの大切さ、隈本氏、萩原氏からは社会保障審議会 少子化対策特



別部会などで検討され
ている保育制度の見直
しなどについて講演い

ただきました。待機児童解消のための量的整備の見通しや保育に
欠ける要件の検討状況、そして保育所と保護者との直接契約の議
論についてなど保育制度の根幹を揺るがすような事案について最
新の状況を聞くことができました。これらの話題は保育所を今後
運営する上で常に動向を把握していなければならないものであり、
今回の研修会は私にとって非常に有意義なものとなりました。



〒310-8586 水戸市千波町1918
茨城県民間保育協議会青年部広報委員会発行

編集後記

ようやく寒なくなってきました。個人的に「ECO」を実践しようと12月まで自室（保育園事務室）の暖房を入れない目標を立てていたのに、くじけてしまった・・・自家太陽発電（日光浴）は紫外線が怖いし、せいぜいレジ袋をもらわないくらいでした、個人的「ECO」。あまりの小ささにため息をつきつつも、この暖かさに地球の将来を憂う毎日です。皆さんの「ECO」はかどってますか？